



「グローバルネイチャーポジティブサミット2026」について



GLOBAL
NATURE
POSITIVE
SUMMIT
2026
KUMAMOTO JAPAN



グローバルネイチャーポジティブサミット2026 開催概要

1. 会議の名称

グローバルネイチャーポジティブサミット2026 Global Nature Positive Summit 2026 (GNPS2026)

URL: <https://events.nikkeibp.co.jp/event/2026/GNPS.jp/>

ーサミット目的ー

グローバルネイチャーポジティブサミットとは、ネイチャーポジティブイニシアティブ(Nature Positive Initiative)が主催し、ネイチャーポジティブ(自然再興)¹の実現に向けて、世界各地から多様な関係者・関係団体が集い、対話と協働を促進することを目的に開催される国際会議です。

本会議は今回が第2回の開催であり、第1回は令和6年10月にオーストラリアのシドニーで開催されました。環境大臣、企業、金融機関、環境保護団体、学術関係者、市民団体等、50か国以上から1,000人以上が参加しました。



第1回サミットの様子(オーストラリア)

2. 開催期間

令和8年(2026年)7月14日(火)～15日(水) ※16日(木)に熊本県内のエクスカージョンを実施

3. 開催場所

熊本城ホール (熊本市中央区桜町3番40号/TEL:096-312-3737)

URL: <https://www.kumamoto-jo-hall.jp/>

4. 主催

Nature Positive Initiative(ネイチャーポジティブイニシアティブ)
国際自然保護連合日本委員会(IUCN-J)、一般社団法人イクレイ日本

5. 共催

環境省、農林水産省、国土交通省、サミット発起人組織委員会

6. 協力

株式会社 日経BP

7. 後援

2030生物多様性枠組実現日本会議(J-GBF)、一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ
一般社団法人 日本経済団体連合会、経団連自然保護協議会

¹ 多様な生物とのつながりである「生物多様性」は私たちの生活を豊かにする経済・社会の基盤の役割を果たしていますが、私たち人間の活動により生物の絶滅が加速し、生物多様性が悪化しています。そのような中、生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せることを目標としています。

「ネイチャーポジティブ」について

1. 生物多様性の恵み

私たちの暮らしは、多様な生物のつながりである生物多様性に支えられ、水や空気、食料、文化、気候調整など多くの恵みを受けています。世界の GDP の半分以上が自然資本に依存しており、生物多様性は経済・社会の基盤です。



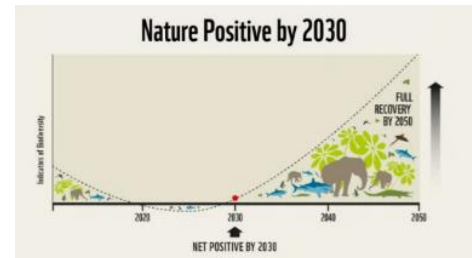
ミツバチなどの花粉媒介生物が農作物を实らせ、微生物が豊かな土壌を作り、森林は地下水を守っています。

2. 生物多様性の損失

しかしながら、現在、我々人間の活動により過去に類をみない速度で地球上の種が絶滅しており、「生物多様性」の悪化が続いている危機的な状況にあります。現在の地球上の種の絶滅速度は過去 1000 万年間の平均の少なくとも数 10 倍から数 100 倍で、さらに加速していると言われています。

3. 自然再興(ネイチャーポジティブ)

このような中、2022 年の生物多様性条約締約国会議で、196 の国・地域が合意し「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択され、生物多様性の損失を止め回復へ導く「ネイチャーポジティブ」が 2030 年までの世界目標となりました。



出典: www.naturepositive.org

熊本市でグローバルネイチャーポジティブサミットを開催する意義

1. 「世界一の地下水都市・熊本」の発信

熊本の地下水はかん養機能を持つ水田や草原、森林が広く存在し、かつ健全な状態に維持されていることで安全な水が確保されています。国内外で先進的な事例として高く評価されている熊本の地下水保全を世界に発信します。



2. 持続的なネイチャーポジティブの実現

世界各国の参加者との対話を通じ、熊本の地下水と阿蘇・白川流域の自然を守るため、個人・企業・行政が連携してネイチャーポジティブに取り組む契機とします。

3. 熊本市のシンボル“江津湖”の魅力再発見

熊本市が誇る江津湖の生物多様性を世界に発信し魅力を共有するとともに、外来植物の繁茂などの危機に対応するため、市民と協力して保全・再生の取組をより実効性のある持続可能なものへ発展させます。



開催都市・熊本市の取組

1. 広報・街中装飾の実施

県民・市民・事業者等の生物多様性の認知度向上を図り、**ネイチャーポジティブの実現に向けた機運を醸成**するとともに、**サミット参加者へのおもてなしの意**を表するため、市政だよりや地方テレビ局等による広報に加え、会場周辺、市街地、空港および駅等において街頭フラッグや歓迎看板などの街中装飾を行います。



○市有広報媒体



○街頭フラッグ



○市役所本庁舎3階横断幕

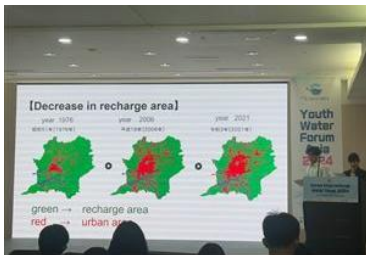
2. 次世代を担う若者の参画

将来にわたってネイチャーポジティブを実現するためには、次世代を担う若者の参画が重要です。

ユースによる活動発表や世界のリーダーとの議論を行うサイドイベント、小学生をはじめとした子どもたちを”NATURE TECH”に招待し、国際的なネイチャーポジティブの取組を体感するため、生物多様性の大切さを学ぶ環境学習プログラムなど、次世代の育成につながるような機会を創出します。

熊本ユース × GNPS2026

本市主催のサイドイベントを実施し、ユース世代が、世界に向けて発信し、新たな知見を得て、誇りをもって取組を継続するための機会を創出 <7/13(月) サミット前日開催予定>



○活動発表するユース水フォーラムくまもとの高校生
@ユース水フォーラムアジア 2024(2024年韓国開催)

小学生向け環境学習プログラム

持続的なネイチャーポジティブの実現という開催意義を実現するため、次世代を担う子どもたちが、世界を知り、体験する環境学習プログラムを実施 <7/14(火)~15(水)開催予定>



○1階展示ホールにおいて、小学生向けワークショップを実施

